

# 漁港は魚の保育園

http://www.gyokou.or.jp/

# 漁港漁場月報

令和4年8月15日発行  
 毎月1回15日発行  
 編集兼発行人 公益社団法人 全国漁港漁場協会  
 橋本 牧  
 東京都千代田区神田鍛冶町3-6-7  
 ウンビン神田ビル2階  
 電話 東京(626)0066  
 定価 1部 70円 (会員の購読料は会費の中に含む)

## 各地区協議会を開催

### 関東東海地区協議会



関東東海地区協議会の様子

令和4年度関東東海地区協議会が7月12日静岡県焼津市の「ホテルフレア松風」において開催され、茨城、千葉、神奈川、静岡、愛知、三重の6県の漁港漁場協会と水産庁、全国漁港漁場協会等から関係者34名が参加した。

冒頭、中野弘道静岡県漁港漁場協会会長(焼津)市長から「これからの漁港・漁場の整備が、計画的かつ効果的に実施されるよう本協議会において活発な議論をお願いしたい」との挨拶があった。

次いで、来賓の橋本牧(公社)全国漁港漁場協会会長、中村克彦水産庁漁港整備部水産施設課災害対策室長が挨拶し、

議事は中野弘道会長が議長となり進められ、漁港・漁場に関する課題について関係県からの情報提供に基づき協議が行われた。

議事では、①漁港の衛生管理について②残土処理用地の整備と確保について③ごみの不法投棄に対する対応状況について④漁港機能の集約と廃港について⑤民間活力導入による漁港の有効活用について⑥10月3日に発生する災害への対応について(漁港の一般利用(釣り等)への対応について)⑦漁港の占有申請に係る架索線の記載について⑧議題、また漁場関係では⑨干潟・シヨンの策

### 東北太平洋漁港ブロック協議会

令和4年度東北太平洋漁港ブロック協議会が7月14日午後3時から仙台市の仙台カテドラルにおいて、青森県、岩手県、宮城県、福島県の4県から44名が出席して開催された。

新型コロナウイルス感染症防止の観点から、規模を縮小し、十分な感染対策を講じながら開催した。

最初に幹事県協会として宮城県漁港漁場協会の佐藤光樹会長、塩籠市長が「東北地方の太平洋側に位置する私たち四県は、豊かな漁場に恵まれ、



東北太平洋漁港ブロック協議会の様子

これまで日本全国に良質な水産物を供給してきたが、近年の気候、海洋環境の変化により、サケやサンマなどの冷水種をはじめとした水産物が、歴史的な不漁となっている。こうした状況は、生産者をはじめ、水産加工業や魚市場等、地域産業に深刻な影響を与えており、これを解決していくためには、環境と調和した持続可能な水産物の確立に向けた一層の支援が必要である」と挨拶した。

続いて水産庁漁港整備部防災課課長の廣山が「歓迎挨拶を述べた。

久志課長及び(公社)全国漁港漁場協会の橋本会長が来賓挨拶をし、次いで村井嘉浩宮城県知事(代読)、吉田信幸水産庁政務部長が歓迎挨拶を述べた。

議事は佐藤会長を議長として進められ、(一社)青森県漁港漁場協会の成田直人理事が、第11回全国漁港漁場大会への提言について説明を行い、

一、新たな「漁港漁場

### 北日本地区協議会

令和4年度北日本地区協議会が7月14日午後3時30分から金沢市のホテル益次において、秋田県、山形県、富山県、石川県の漁港漁場協会、水産庁等から関係者21名が出席して開催された。

冒頭、小泉勝石川県漁港漁場協会会長(金沢)が「先日、石川県では、能登地方を震源とする

定状況及び干潟造成事業の実施状況について②漁港機能の回復に係る取組についての議論が協議され、それぞれ活発な意見交換が行われた。

次いで、次年度協議会開催県について協議され、千葉県での開催を決

定し、坂本雅信(一社)千葉県漁港漁場協会会長(千葉県漁業協同組合連合会代表理事)から歓迎の挨拶があった。

翌15日は、焼津漁港を視察、魚市場や超低温冷蔵庫庫、陸揚などの港内防災施設の見学を行った。

このよな中、水産現場の整備を善美に進め、水産物の安定供給の基盤となる漁港と漁

源の安定的な確保、④施設利用者の安全性や就労環境の改善等の事業の支援、⑤我が国漁船の操業の安全と自由な操業環境の確保について、要望することを決議した。

最後に次年度開催県を秋田県にする事を決定し議事を終了した。

引き続き、西崎孝之水産庁漁港整備部計画課総括補佐から「新たな漁港整備長期計画」についての議題及び竹田行生石川県農林水産部次長から「石川県の水産業と漁港」についての話題提供が有り協議を終了した。

### 九州地区協議会開催

令和4年度九州地区協議会が7月21日午後3時から福岡市の「博多サントピルホテル」において、九州、沖縄8県から16名が出席して開催された。

新型コロナウイルス感染症防止の観点から、規模を縮小し十分な感染対策を行った。その開催となった。

冒頭、幹事県協会である(一社)福岡県漁港漁場協会の佐藤政俊会長は「コロナ禍の中、皆様方とご一緒に九州大会の在り方を協議してきた。それらの経緯からも、形は異なるが本日も開催できたことに厚く感謝する。今年3月、新たに漁港整備計画が策定され、水産業の成長産業化への位置づけと活性化

産業化が可能になるもの」と確信している。九州、沖縄の協会は、一体となって国や県と緊密な連携を図り、計画実現に向けた漁港整備の更なる推進に取り組んでまいりたい」と挨拶した。

続いて、大分県、福岡県、農林水産部水産局長(代理)、深川敦平水産課課長が来賓の挨拶を述べ、最後に橋本牧(公社)全国漁港漁場協会会長から寄せられた挨拶メッセージが披露された。

議事に入り、①全国協議会への提案事項については、漁港整備長期計画に係る24項目、その他9項目を提案することを決定した。②各協会の関係・協議事項では、今後の九州地区協議会開催の在り方について昨年引き継ぎ意見が出され、今後も継続して協議していくこととなった。

このほか、会員支援策に係る各協会独自の取組み「全国漁港漁場大会における参加者交流会」についての情報交換が行われた。③次期開催県については、佐賀県で開催することを決定し、佐賀県漁港漁場協会の山川史事務局長(佐賀県農林水産部水産課課長)が次回開催に向けて抱負・歓迎の挨拶を述べ、協議を終了した。



九州地区協議会の様子



北日本地区協議会の様子

